

関係者各位

Press Release No. 1

令和4年5月26日

2022年（第32回）福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2022



受賞者発表

アジアの学術研究や芸術・文化の分野で顕著な業績をあげた方を顕彰する福岡アジア文化賞。

第32回目となる今年の受賞者は、この3名の方々に決定しました。

日本人の大賞受賞は、2013年（第24回）の中村哲氏以来、9年ぶりです。



大賞 林 英哲氏（70歳） HAYASHI Eitetsu

日本／太鼓奏者

新しい創作太鼓音楽の最先端を走り続けてきた世界的に活躍する太鼓奏者

- ・地域の祭礼や行事と結びついた伝統的な太鼓文化を基盤としつつ、身体所作の力強さと美しさを伴う全く新しい舞台芸術として太鼓の表現を飛躍的に発展させた
- ・世界有数の交響楽団や様々なジャンルのアーティストと共演。世界規模で活動を続け、新たな表現を通して日本文化の国際発信に挑んでいる
- ・演奏だけでなく、作曲、舞台の演出にも卓越した手腕を発揮している
- ・これまでになかった独創的な太鼓音楽の様式を築き上げ、今なお進化し続けている



学術研究賞 タイモン・スクリーチ氏（60歳） Timon SCREECH

英国／美術史家

美術「を」研究するのみならず、美術「で」研究する美術史家

- ・江戸を主たるフィールドに、広くビジュアル情報として残された歴史を解明し続ける博覧強記の日本研究者
- ・斬新な江戸研究を提示した話題作を立て続けに出版、英語圏にとどまらず、韓国語や中国語に翻訳されているものもあり、内外の学界に大きな衝撃を与えてきた
- ・膨大なビジュアル及び文献情報を、多元的かつグローバルな視点と斬新な方法論によって江戸研究の新たな地平を切り開いている



芸術・文化賞 シャジア・シカンダー氏（53歳） Shahzia SIKANDER

米国／アーティスト

伝統絵画とデジタル技術が融合した新たな芸術表現を切り開くアーティスト

- ・南アジアを代表するパキスタン出身の女性アーティストで、国際的に高い評価を得ている
- ・伝統に連なる細密画の世界に、最新のデジタル技術を駆使し、伝統絵画を今を生きる魅力的な造形として蘇らせ、「ネオ・ミニアチュール（新細密画）」の世界を作り上げた
- ・世界が抱える困難な課題（民族、宗教、ジェンダー、移民など）を南アジアの伝統を踏まえ刷新し、今日的な造形によって暗喩的に描き出している
- ・南アジアの女性アーティストのロールモデルとなり、後に続く世代に道を開き続けている

授賞式は9月27日(火)に開催し、オンライン配信を行う予定です（次頁参照）

2022年（第32回）福岡アジア文化賞 公式行事日程（予定）

令和4年5月26日時点

行 事	日 程	場 所	内 容
授賞式	9月27日(火) ※18:45～19:45 (予定)	福岡国際会議場 (メインホール)	授賞式典 ※会場参加は関係者のみ ※ライブ配信及びアーカイブ 配信あり (事前申込制)
市民フォーラム	<大賞> 林 英哲氏 9月28日(水) 夜	電気ビル共創館 (みらいホール)	受賞者による市民を対象とした講演会や演奏等 ※会場参加及びアーカイブ 配信あり (事前申込制)
	<学術研究賞> タイモン・スクリーチ氏 9月28日(水) 午後	福岡市美術館 (ミュージアムホール)	
	<芸術・文化賞> シャジア・シカンダー氏 9月30日(金) 午後	福岡アジア美術館 (あじびホール)	
学校訪問	9月26日(月) ～ 9月30日(金) ※日程調整中	福岡市内の 中学校・高校	受賞者が学校を訪問し、 生徒と交流

※各行事の申し込みは、8月1日から開始予定です

【問い合わせ先】 総務企画局国際部アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）
担当：中野、円城寺 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130
福岡アジア文化賞 URL <https://fukuoka-prize.org/>

ASIAN PARTYとは…9月から10月にかけて集中的に開催されるアジアとクリエイティブ関連事業の総称です。
「アジアと創る」をコンセプトに、アジアのヒト、モノ、情報が集う社交場をイメージし、「アジアを知る」アジアマンスからリニューアルして10回目を迎えます。「福岡アジア文化賞」、「The Creators」のほか、民間企業・団体等と連携し様々なイベントを開催します。